

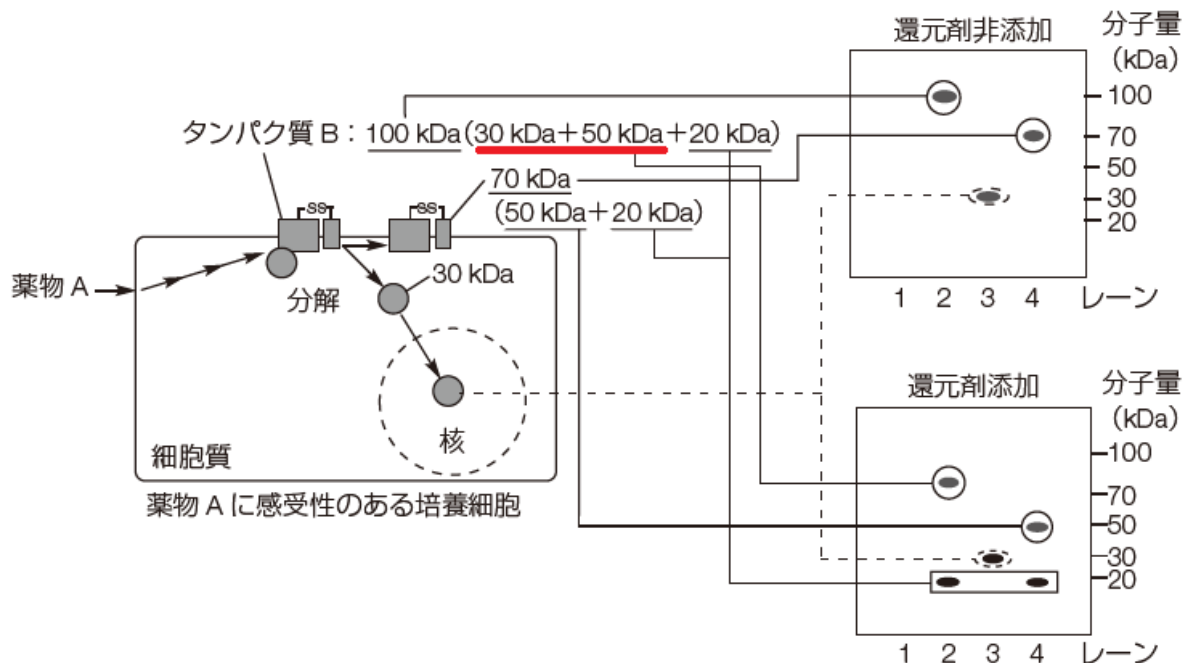
この度は、「回数別既出問題集 107 回薬剤師国家試験」をご購入いただき、誠に有難うございます。

本書について、以下のとおり補足及び訂正させていただきます。

ご迷惑をお掛け致しまして申し訳ございませんが、何卒宜しくお願い申し上げます。

薬学ゼミナール編集 回数別既出問題集 107 回薬剤師国家試験 補足及び訂正一覧表

	訂正前	訂正後
P1 問1 解説 10行目	…… $[H^+][OH^-]=1.0 \times 10^{-12}$ より、……	…… $[H^+][OH^-]=1.0 \times 10^{-14}$ より、……
P102 問 96 解説 図 右側	有機溶媒中の分子形の濃度 $\frac{2}{3} x \text{ g}/200 \text{ mL}$	緩衝液中の分子形の濃度 $\frac{2}{3} x \text{ g}/200 \text{ mL}$
P136 問 114 解説 5	図の差し替え	後述
P144 問 121 解説 5 1行目	関連の時間性の記述である。	関連の <u>特異性</u> の記述である。
P163 問 137 解説 5	小核試験は、哺乳類の……脱核されずに赤血球中に残るため、……	<u>In vitro</u> 小核試験は、哺乳類の……脱核されずに <u>細胞中</u> に残るため、……
P167 問 140 解説 1	酸性雨の原因は、大気中の窒素酸化物(SOx)や硫黄酸化物(NOx)濃度の上昇である。	酸性雨の原因は、大気中の窒素酸化物(<u>NOx</u>)や硫黄化合物(<u>SOx</u>)濃度の上昇である。
P176 問 148 解説 4	特定臨床研究に関する計画の立案……	特定臨床研究に関する計画を立案……
P194 問 165 解説 2	HHV-3 は知覚神経の軸索流に乗って移動するため、皮疹は血管ではなく、神経節に沿って広がる。	HHV-3 は知覚神経節に潜伏し、 <u>神経の流れに沿って全身に広がっていく。</u>
P322 問 269 解説 下から2行目	$0.1 \text{ h}^{-1} \times t = \ln \frac{40 \mu \text{ g/mL}}{15 \mu \text{ g/mL}} = \dots\dots$	$0.1 \text{ h}^{-1} \times t = \ln \frac{40 \mu \text{ g/mL}}{15 \mu \text{ g/mL}} = \dots\dots$
P284 問 238 解説 2つ目のグラフの縦軸	事件数(人)	事件数(件)
P320 問 267 解説 3 行目	ホリナートカルシウム注は、葉酸代謝拮抗剤である。……	ホリナートカルシウム注は、 <u>抗葉酸代謝拮抗剤</u> である。……
P335 問 279 解説 6～8行目	A:…… $\cong 1.28 \times 10^{-3} \text{ mm}^2/\text{s}$ B:…… $\cong 3.31 \times 10^{-3} \text{ mm}^2/\text{s}$ C:…… $\cong 6.48 \times 10^{-3} \text{ mm}^2/\text{s}$	A:…… $\cong 1.28 \text{ mm}^2/\text{s}$ B:…… $\cong 3.31 \text{ mm}^2/\text{s}$ C:…… $\cong 6.48 \text{ mm}^2/\text{s}$
P336 問 279 解説 表	動粘度 ν (mm^2/s) A: $1.28 \times 10^{-3} \text{ mm}^2/\text{s}$ B: $3.31 \times 10^{-3} \text{ mm}^2/\text{s}$ C: $6.48 \times 10^{-3} \text{ mm}^2/\text{s}$	動粘度 ν (mm^2/s) A: $1.28 \text{ mm}^2/\text{s}$ B: $3.31 \text{ mm}^2/\text{s}$ C: $6.48 \text{ mm}^2/\text{s}$
P336 問 279 解説 1	製剤 A の動粘度($1.28 \times 10^{-3} \text{ mm}^2/\text{s}$)は、製剤 B の動粘度($3.31 \times 10^{-3} \text{ mm}^2/\text{s}$)より小さい。	製剤 A の動粘度($1.28 \text{ mm}^2/\text{s}$)は、製剤 B の動粘度($3.31 \text{ mm}^2/\text{s}$)より小さい。
P366 問 305 解説 2 2行目	……A 投与群は A 非投与群と比較して有意に生存期間を延長している。	……A 投与群は A 非投与群と比較して、 <u>心血管死又は心不全による入院を有意に減少させていると読み取れる。</u>



下表は、2022 年 7 月の私立薬科大学協会「第 107 回 薬剤師国家試験問題検討結果報告書」に伴う追補となります。

	訂正前	訂正後
P249 問 211 問題		
P250 問 211 解説 4	<p>時計回り →④が手前 →見かけとは逆 →S配置</p>	<p>時計回り →④が手前 →見かけとは逆 →S配置</p>
P250 問 211 解説 5	<p>sp²混成 →</p>	<p>sp²混成 →</p>

下表は、2022年12月23日の「臨床試験の一般指針」の改訂に伴う追補となります。

	訂正前	訂正後
P170 問 143 解説	表の差し替え	下記

〈臨床試験の種類とフェーズとの関連について〉

臨床試験の種類	フェーズ	対象者	臨床試験の目的
臨床薬理試験	I相	少数の健常人(抗がん剤などの場合は患者)	<ul style="list-style-type: none"> ・忍容性と安全性の評価 ・PK 及び PD の定義/記述 ・薬物代謝と薬物相互作用の探索 ・薬理活性及び免疫原性の評価 ・腎臓/肝臓に関する忍容性評価 ・心毒性の評価
探索的試験	II相	少数の患者	<ul style="list-style-type: none"> ・標的とする適応症での使用の探索 ・以降の試験のための用量/レジメンの推定 ・用量反応/曝露反応関係の探索 ・検証的試験のデザインの基礎の提供
検証的試験	III相	多数の患者	<ul style="list-style-type: none"> ・有効性の証明/検証 ・より大規模かつより患者集団を反映する集団における安全性プロファイルの確立 ・薬事承認を支援するためのベネフィット/リスクの関係を評価するための適切な基盤の提供 ・用量反応/曝露反応関係の確立 ・特殊集団(例えば、小児、高齢者)における安全性プロファイルの確立と有効性の検証
承認後の試験	第IV相	より多くの患者	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的又は特殊な集団又は環境における、ベネフィット/リスクの関係の理解を深めること ・より発現頻度の低い副作用の特定 ・推奨用量の最適化

下記は 2024 年 4 月 1 日から食品衛生基準行政が厚生労働省から消費者庁に移管されたことに伴う追補訂正となります。

	訂正前	訂正後
P173 問 145 解説 3 行目	……薬事・ <u>食品衛生審議会</u> ……	……薬事審議会……

下表は、2023年10月の「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則第二百六条の二第一項の規定に基づき厚生労働大臣が指定する医薬品及び期間の一部を改正する件(案)について(概要)」に伴う追補となります。

	訂正前	訂正後
P370 問 309 解説 冒頭に追加	-	要指導医薬品の取扱いに関する出題である。なお、フルチカゾンプロピオン酸エステル点鼻薬は、2023年11月1日付で指定第二类医薬品に移行されている。